

第277号（2023年8月号） / 2023年8月1日発行

2024年度予算編成に関する要望書

毎年この時期に狛江社会保障推進協議会として来年度予算編成に向けて、市に提出する共同要求をまとめています。豊かな狛江をつくる市民の会として、以下のような要求を提出する予定です。他団体の要求もまとめて、市の関係部署との懇談を申し入れます。コロナ以前は担当部署と合同で懇談を行っていましたが、コロナを機会に途切れていたのが、さらに市長が個々の団体とは会わないと言い出し、下部組織もそれに倣っているようで、これまでのような形の懇談は受けようとしていません。今回の共同要求の提出は、近々行う予定ですが、各担当部署に個別に申し入れるなどこちらも対応を考える必要があります。

今年度実現した要望も幾つかあります。学校給食

はこの4月から小中学校に在学中の「第3子から無料」が実現しました。多摩地域では初ですがさらに全員無償化は必須です。带状疱疹ワクチン接種費用の助成、排水ポンプ設置等へ都の補助の拡大も実現しました。補正予算では、低所得の子育て世帯に給付金5万円、不登校支援員の一中、二中、三中への配置が決定しました。

生理用品を小中学校の女子トイレに配備する要望では、民間企業からの現物寄付があつて、6月末から中学校、9月からは小学校にも配備されることになりましたが、数に限りがある（8640個）ため、女子トイレの一部への配置にとどまっています。全ての女子トイレへの常時配備の予算化が必要です。

- 「狛江市市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」を遵守して、中央図書館分割・移転計画を中止し、市民センター改修と別棟増築を含め現在地での充実と、郷土資料館を含む複合施設整備など今後の建て替え計画を市民参加・協働で検討してください。
- 物価高騰のもと、生活に困窮している方々に経済的支援を強めてください。
 - 補聴器購入費助成制度、家賃補助制度など
- 子どもたちのために
 - 学童クラブの待機児をゼロにしてください。
 - 全小中学校の女子トイレに生理用品を常備してください。
 - 学校給食費の小中学生全員無料化の実現。
 - 所得制限を撤廃し18歳までの医療費を無料化。
- 市民の健康のため調布・狛江に保健所を復活させるため国や都に強く働きかけてください。
- 健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化は、国民皆保険を壊し、市および医療機関の事務負担が増え、市民が不便になるので、健康保険証をこれまで通り使えるよう、国に求めよ。
- 有機フッ素化合物（PFAS）の地下水等への汚染の実態を明らかにし、必要な対応を。
- 自衛隊に対し行っている本人同意を得ない個人情報提供をやめてください。
- だれもが生きやすい狛江をつくるためパートナーシップ制度の導入、性的マイノリティの現状を理解した行政サービス・生活支援策の実施。
- バス減便・路線廃止等で生じている交通不便地域に対し市としての対応を検討を。
- 商工業、農業の振興をはかり活気と賑わいのあるまちにするため
 - 住宅リフォーム助成制度、店舗リニューアル助成制度をつくってください。
 - 公契約条例をつくり公共事業で働く下請け労働者の賃金を上げてください。
- 気候危機打開へ再生可能エネルギーの利用拡大と省エネの取り組みを。
- 災害死者ゼロ・浸水被害ゼロをめざし、災害対策を抜本的に強化してください。
- ロシアのウクライナ侵略即時中止を求め、狛江市平和都市宣言に基づき、憲法9条を守り核兵器禁止条約への日本の参加を求めてください。

図書館の分割・移転、このまま進めていいのですか？

市民センター改修・新図書館整備の基本設計の説明会でほとんどの方が「基本方針」の決め方が「市民参加と市民協働条例」に反しているのではないかと、「図書館を2ヶ所に分割するのはおかしい、どうしてそのような案になったのかを明かせよ」という意見を述べたにもかかわらず、議会への報告ではその他の意見も出されたという形で無視されています。


市長は「基本方針は議会でも承認されて予算がついて進められている。皆さんの議論も踏まえて進めている。すでに市民センターの改修は今年度中に実施設計が出来上がり、新図書館も基本設計が済み次第実施設計に入るので変えるつもりはない」という答弁でした。

説明会のたびに出される市民の声をまともに聞くとはせず、図書館分割を行う理由も示さず押し進めようとする市長の姿勢に不信感が募るばかりです。

ちょっと待って図書館移転連絡会では、再度市民にこのままでは図書館が分断されてしまい、誰にとっても使いにくい図書館になってしまうこと、公民館利用団体にとっても、決して活動スペースは増えず、市民提案書が求めているコミュニティ・スペースにはなりえないこと、現在地で充実させる方法はあることを知らせていく必要があると考えています。問題点を絞ったチラシの発行と、図書館分割についての市民集会を計画しています。市民集会の日程は10月22日（日）午前中央公民館ホールを予定しています。

ちょっと待って図書館移転連絡会 周東三和子
内容、宣伝方法などについてはこれから詰めていくところですが、多くの市民に知らせて、声を上げていくきっかけにしたいと考えています。皆様のお知恵をお貸しください。

**いつでも、だれでも
読みたい本が
さがせるように…**



**市民は、広くて、明るくて
ゆったり過ごせる
図書館が欲しいのに**

図書館分割でいいの？

市長は市民になぜ分割が良いのか説明してくれませんか。議会で予算が認められたから、それで進めるといふけれど、20億円近い税金を使う市民の施設、このまま進めて良いのでしょうか？

なんと！ **しかも2年も休館！**

図書館は今の場所で充実を！

市民センターの前面に別棟で2階建を作り渡り廊下などでつなぐ。木造なら再利用可能。「こまえくぼ」は今のまま高架下で。駄倉地域は別計画とする。

駄倉地域には公民館の一部、若者や働く人のグループ活動やワークスペースを。商工会も入れれば起業のサポートとかできるんじゃない？
「こまえくぼ」は今のまま高架下で。

飛行：ちょっと待って図書館移転！連絡会こまえ
発行責任者：粕江市中泉 2-6-12 周東三和子

子どもの図書コーナーと家庭書は市民センター。
新聞雑誌も市民センター。
一般書や専門書は、駄倉新図書館。
子どもも、親子連れも、大人も2ヶ所に行くことに。なのに一般の駐車場はない。バスの便もない。

例えば

絵本も小説も専門書・雑誌・新聞全て、1ヶ所でワクワクしながら探して、ページをめくりたい！

ひと言

自衛隊に個人情報提供！しかもCDROMに焼いて！

粕江市は自衛官募集対象者（18歳及び22歳）の住所、氏名、性別を住民基本台帳から抽出して、2022年は高校3年生世代617名、大学3年生世代809名の名簿をCDROMに焼いて自衛隊に提供していたことが先日の議会で明らかになった。

自衛官等募集は、市町村の法定受託事務と定められており、自衛隊法施行令第120条には、「防衛大臣は、自衛官又は自衛官候補生の募集に関し必要があると認めるときは、都道府県知事又は市町村長に対し、必要な報告又は資料の提出を求めることができる。」と定められている。しかし義務規定ではないので提供しなくても自治体は不利益は被らない。

案の定、多摩26市中情報提供を行っているのは5市、内わざわざCDデータとして提供しているのは粕江市を含めて2市のみだそうだ。

自衛隊に自己の個人情報の提供を望まない人への配慮として、自治体によっては情報提供の除外規定があり、除外申請の手続きをすれば名簿から除外することを行っている。

一方、粕江市は自衛隊法を楯に市民の個人情報を同意なく提供しており、除外規定を作る意向もない。いかにも国や都のやることに即応する松原市長らしいやり方ではないだろうか。マイナカードが将来どんな風に使われるか、非常に危機感を感じてしまう。（中和泉 周東）

PFAS 汚染の実態解明へ血液・井戸水独自調査実施、テレビ取材も

多摩地域の有機フッ素化合物汚染を明らかにする会事務局／PFAS 汚染の実態を明らかにする狛江の会連絡係／豊かな狛江をつくる市民の会世話人 重国たけし

20 人の血液検査、5 カ所の井戸水検査

発がん性などが指摘されている PFAS（有機フッ素化合物）の実態解明のため、6 月 27 日に府中駅前前の府中診療所で狛江市民 20 人の血液検査（PFAS の血中濃度を調べる）を実施しました。「多摩地域の有機フッ素化合物汚染を明らかにする会」（「多摩の会」）が、これまでの 650 人の血液検査に加え、多摩の全自治体で 10 人以上の検査が行われるよう追加検査を呼び掛けて実施されたものです。狛江では最大 20 人まで可能とされたところ、30 歳代から 80 歳代まで、狛江市居住歴も 5 年から 56 年の人までの 20 人の参加がありました。半数が 6 月 12 日の学習会の際に申し込まれましたが、その後、チラシを見たり知り合いから情報を得たという方からも申し込みが相次ぎました。

さらに、行政が本格的な調査に踏み出さないことから、「多摩の会」では独自に多摩地域で 100 カ所の井戸水の調査を提起しました。これに応じて狛江でも、6 月末から 7 月上旬にかけて、和泉本町、岩戸南、東和泉、元和泉の 5 カ所（深さ 5～30 メートル）で個人所有の井戸および公園に設置された災害時井戸（市に確認済み）の採取を行いました（写真）。

血液も井戸水も、京都大学の原田浩二准教授の研究室で計測が行われており、結果は一カ月ほどで明らかになる予定です。8 月 3 日の学習会（中央公民館講座室、18 時～）で結果の概要をお知らせできればと考えています（詳しくは、折込みの別紙参照）。

マスコミも注目

PFAS の独自調査にはマスコミも注目し、「多摩の会」には多くの取材依頼が来ています。狛江の調査にも、血液検査と井戸水検査へのテレビ取材がありました（写真）。



血液検査のために採血に協力する田岡恭子さん



自宅の井戸水の PFAS 調査に協力しマスコミの取材を受ける増田善信さん



清水川公園で井戸水の採水を行う岡村しん市議と重国たけし

狛江が注目されるのは、地下水から 410 ナノグラム（水 1 リットル当たり）と暫定基準値の 8 倍を超える PFAS が検出されたことも背景にあるようです。

防衛省が米軍横田基地からの漏出を認める

この間、実態解明に向け注目される動きもありました。6 月 29 日の日本共産党国会議員団の聞き取り調査（狛江からは、岡村しん市議と重国が参加）において、2010～12 年の間に 3 件、米軍横田基地で高濃度の PFAS を含む泡消火剤の漏出事故があったことを防衛省が認めました。漏出事故は、英国人ジャーナリストが米軍内部文書をもとに指摘し、報道されていましたが、防衛省が公式に認めたのは初めてです。

横田基地周辺自治体は、漏出場所や量など詳細な情報を迅速に提供することや、国の責任で基地内の PFAS 漏出にかかわる地下水への影響を調査・分析・評価し、結果を公表することなどを求めています。汚染源の特定には基地内への立ち入り調査が不可欠ですが、米軍に基地の排他的管理権を与えている日米地位協定の下で大きな制約があります。地位協定を抜本的に改定することも課題となっています。

8 月 3 日に学習会（中央公民館講座室、18 時～）

前回、6 月の狛江での緊急学習会は平日の午前中だったことから、夜間の学習会開催の要望もありましたので、第 2 回の学習会は 8 月 3 日（木）の 18 時から中央公民館講座室で開催します。講師は「多摩の会」共同代表の根木山幸夫さんです。ぜひご参加ください。また、みなさんのご意見や情報などをお寄せください。

（連絡・問い合わせ先＝重国たけし

090-1775-9052、sigeny@nifty.com）

8月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。
 ※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、320部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(木) 16時30分～ 17時30分	狛江駅前広場	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
3日(木) 18時～20時	中央公民館 講座室	第2回 PFAS 学習会	PFAS 汚染の実態を明らかにする狛江の会
9日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	9の日行動 = 駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
11日(金) 10時30分～	みんなの広場	「豊かな狛江」9月号 編集会議	
17日(木) 14時～16時	中央公民館 第2会議室	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
23日(水) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会相談会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
23日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部などが中心。第4水曜日。
24日(木) 14時～16時	東京土建狛江 支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
28日(月) 14時～16時頃	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
29日(火) 9時30分 ～11時頃	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』9月号の製本・仕分け作業	
9月3日(日) 13時30分～	狛江エコルマ ホール	こまえ平和フェスタ2023 「明日が今日より平和になるように」(次ページ記事参照)	こまえ平和フェスタ実行委員会

こまえ平和フェスタ 2023

～明日が今日より平和になるように～

4年振りにエコルマホールで開催

コロナ禍で2020年は中止、2021年はオンラインのみで開催、2022年は西河原公民館でリアルとオンラインで開催しましたが、秋葉忠利元広島市長の講演はオンラインとなりました。苦しい中で、ニュースを発行したり、小学校の平和学習に呼ばれたり、1992年の平和作文入賞者の「今」を取材するなど工夫をして、皆さんに、平和フェスタの頑張っている姿を見ていただてきました。

その成果は、折り込みさせていただきました案内チラシを見ていただければと思います。エコルマホールで実施できる力を維持・蓄えてきたことに尽きます。ひとえに市民の皆さんの支援・激励の賜物でもあります。

舞台のメインのお話は「子どもたちの未来に核兵器のない世界を」と題して、原水協の前川史郎さんに小学生にも分かるように、戦争と平和、核兵器について話していただきます。紙芝居「戦争と狛江の子ども達」(1998年3月制作)は有志を募って継承グループを立ち上げました。舞台では朗読劇にして披露します。

今年の合唱曲「虹をつなぐ」は世田谷区立砧中学校の平和学習から生まれた詩で、大熊啓実行委員長(シンガーソングライター)が作曲した、オリジナル曲です。平和フェスタ合唱団は東京うたごえ祭典で歌い、日本うたごえ祭典に推薦されました。その合唱をぜひ聴きに來てください。

ホワイエでは絵手紙、川柳・俳句等の一般公募、広島の高校生の被ばく者聴き取り絵(レブリカ)、「ナガサキ～長崎原爆をたどる旅より～」と題する油絵などが展示されます。前述しました砧中学校の2022年度卒業生による作品も展示します。原爆を模擬した爆弾が7月下旬から終戦前日までに全国49カ所に落とされ、400人以上の死者を出したのをご存じでしょうか。西東京市に落とされた模擬原子爆弾を中心に調べた結果を展示します。他にも工夫を凝らした展示がたくさんあります。

手話通訳・要約筆記、保育(事前申し込み・人数制限在り)あります。どなたも、お気軽に参加ください。(西尾真人)

7・22 こまえ平和大行進



1958年以来毎年、核兵器の廃絶をめざし、8月の広島、長崎の原水爆禁止世界大会にむかって全国で平和行進が行われています。今年狛江では、コロナの影響で調布からの行進がないた

日本政府は核兵器禁止条約に参加を!

戦争の準備より、平和の準備を!

め、独自に市内行進と駅前アピール&署名行動を行いました。7月22日(土)の13時30分、和泉中央児童遊園を出発、市役所前、狛江三叉路、世田谷通り、新一の橋、いちよう通りから市役所裏まで約30分行進。その後、14時20分

過ぎから狛江駅前です署名とアピールを行いました。暑い中でしたが、行進参加は 50 名、集会参加は 40 名、署名は 30 分で 35 筆集まりました。大熊さんが歌を挟んで司会進行、平和憲法を広める狛江の会、新婦人、狛江母親連絡会からスピーチがありました。大熊一家の歌、原



水禁大会に代表を派遣している学生団体からの訴えなどのあと、大熊さんが「今週の平和行進」に載せる動画を全員で撮影。FaceBook で「今週の平和行進」を探していただくと、22 日の号の最後に出てきますよ。



狛江の自然



野川は川縁が比較的自然のまま残されて改修されてきた（最近の改修は乱暴な感じが否めないが）。水鳥が多く、魚や昆虫類、爬虫類、蛇も見かける。家族連れや子どもたちが川遊びをしている姿は日常風景になっている。

左のカワセミは 2018 年に箕和田橋付近で偶然に撮影。日が落ちる頃にはウシガエルなのかヴァーオ、ヴァーオと大きな鳴き声が響く。（和泉本町 西尾真人）